

住友理工、名古屋大学駅と鶴舞駅に看板設置

～今後の採用競争激化へ対応～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、名古屋大学駅（名古屋市営地下鉄・名城線）と鶴舞駅（同・鶴舞線）に、看板広告を掲出しましたのでお知らせいたします。



駅に設置した看板デザイン

当社グループの事業分野は「自動車（モビリティ）」「インフラ・住環境」「エレクトロニクス」「ヘルスケア」と多岐に広がり、世界 23 ヶ国 106 拠点で事業を展開しています。モノづくりに興味を持ち、グローバルで活躍したいという希望を持つ学生を中心に、採用活動を進めてきました。

そのような中、2018 年度に新卒社員 97 名を採用し、2019 年度には 99 名に内定を出しています。また、2020 年度も、ほぼ同数を採用する計画です。

一方、採用を取り巻く環境は、売り手市場の状況が続いていると言われており、学生の取り込みに各社がしのぎを削っています。

先月、経団連より大手企業の採用面接の解禁日などを定めた指針を 2021 年春入社の学生が

ら廃止するという発表がありました。当社としては、学生の皆さんが勉学に励みながらも、就職という大きな人生のポイントで後悔なく就職先をご検討いただけるように、さまざまな施策を実施していきたいと考えています。

当社の活動としては、合同採用説明会への出展をはじめ、就労体験型インターンシップ、女子学生向けのインターンシップなどを実施しています。

これまで当社は、採用目的の看板広告を実施していませんでしたが、今後ますます人材獲得の環境が厳しくなると見込まれる中、さらにより多くの優秀な人材にアプローチしたいと考え、このたび新たに実施するものです。

新卒入社だけでなく、キャリア入社を希望される方にとっても、当社グループを就職先としてご検討いただけることを期待しています。

以 上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制震音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先

住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>